

【令和5年度 公共事業評価監視委員会】

市道植木橋木角線道路整備事業 (再評価)

令和6年2月9日

建設部 道路整備課

市道植木橋木角線道路整備事業の概要

- 事業の種類 : 社会資本整備総合交付金事業
(社会資本整備交付金)
- 路線名 : その他市道 植木橋木角線
- 起点 : 佐賀市高木瀬西三丁目
- 終点 : 佐賀市鍋島二丁目
- 延長 : 940m
- 幅員 : 12.0m~15.0m(両歩道)
- 全体事業費 : 10億6,000万円
- 事業期間 : 平成25年度~令和7年度
- 事業内容 : 改良工 L=922m 舗装工 L=940m
函渠工 N=5基 橋梁工 N=1基
用地補償 12,223m² 物件補償 8件

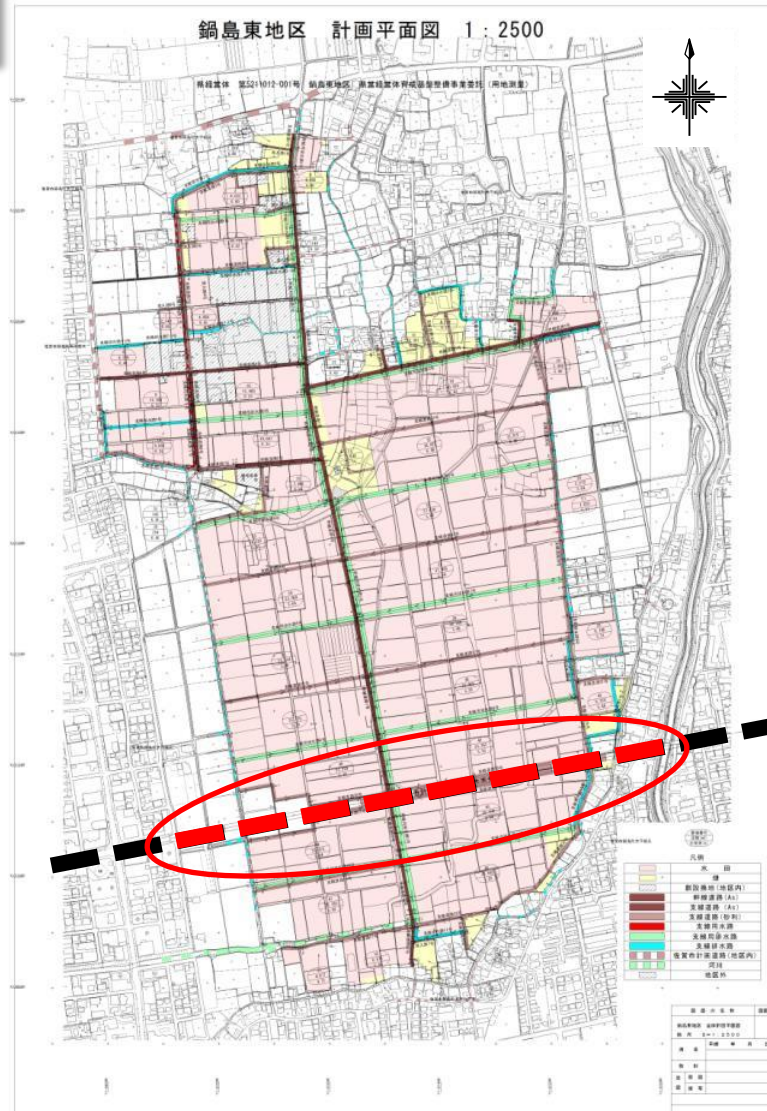
市道植木橋木角線道路整備事業の概要

事業の変遷

- 都市計画決定 昭和44年2月12日
 - ・路線名 都市計画道路 植木橋東高木線
 - ・路線延長 L=1,630m W=12m
- 都市計画変更 昭和55年11月1日
 - ・路線名 都市計画 東高木木角線
 - ・路線延長 L=3,270m W=12m(終点を延伸)
- 鍋島東地区ほ場整備事業 平成24年度～令和6年度

市道植木橋木角線道路整備事業の概要

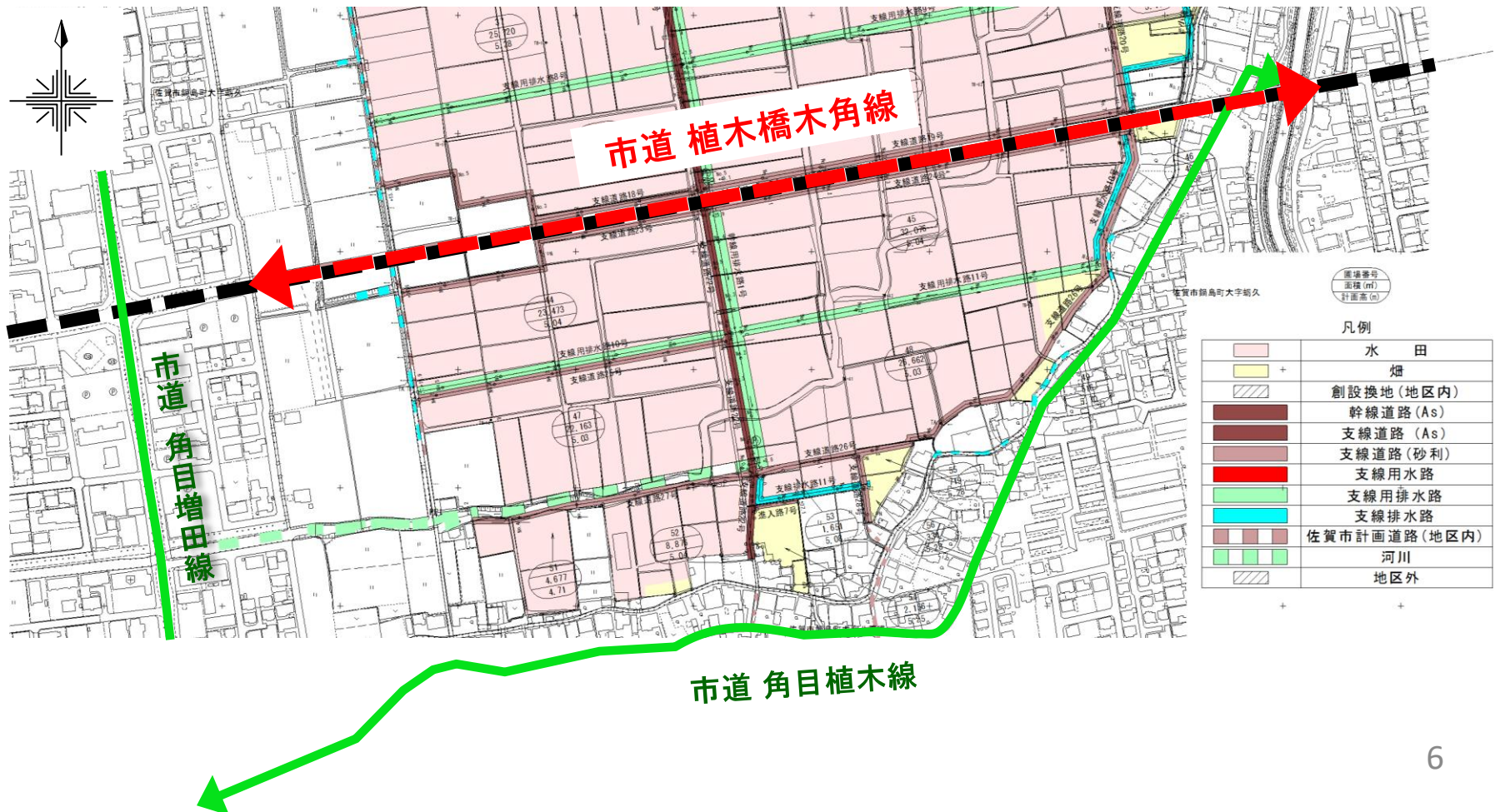
ほ場整備全体図



市道植木橋木角線

市道植木橋木角線道路整備事業の概要

施工区域部拡大



市道植木橋木角線道路整備事業の必要性

周辺道路の現状(市道植木角目線)

●本路線と並行路線である市道角目植木線は通学路として利用されているが、狭小なうえ車の抜け道としても利用されている。



市道植木橋木角線道路整備事業の必要性

周辺道路の現状(市道角目増田線)

- 市道角目増田線は佐賀大学医学部付属病院方面から国道34号方面に向かう車で渋滞している。



市道植木橋木角線道路整備事業の必要性

周辺道路の現状(国道34号)

- 常時交通量が多く、角目増田線方面の側道からの合流地点では渋滞が発生する。



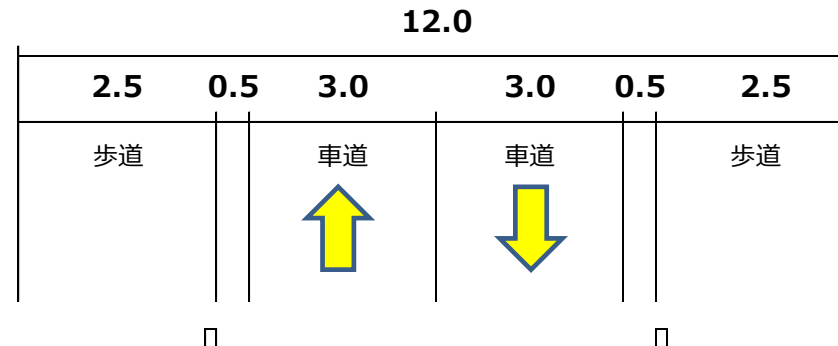
市道植木橋木角線道路整備事業の必要性

- 歩行者及び車の安全な通行の確保。
- 高次医療機関である佐賀大学医学部附属病院、国立病院機構佐賀病院のアクセス道路。
- 国道34号及び佐賀大学医学部附属病院周辺道路の渋滞緩和。

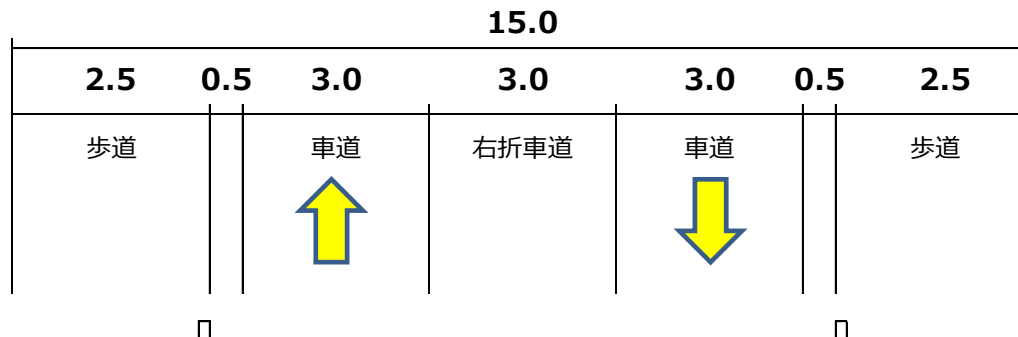
市道植木橋木角線道路整備事業の必要性

計画断面図

【一般区間】
両歩道



【植木橋周辺】
両歩道+右折用車線



市道植木橋木角線道路整備事業の進捗状況

施工前



市道植木橋木角線道路整備事業の進捗状況

現在の進捗



市道植木橋木角線道路整備事業の進捗状況

現在の進捗



①



②



市道植木橋木角線道路整備事業の進捗状況

現在の進捗



植木橋



市道植木橋木角線道路整備事業の進捗状況

現在の進捗



市道植木橋木角線道路整備事業の進捗状況

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 1 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
事業費 (百万円)	83.5	73.3	71.2	110.0	100.0	70.4	50.4	141.1	49.9	31.5	76.1	200.6	2.0
累計事業費 (百万円)	83.5	156.8	228.0	338.0	438.0	508.4	558.8	699.9	749.8	781.3	857.4	1058	1060
進捗率 (事業費 ベース) (%)	7.8	14.7	21.5	31.8	41.3	47.9	52.7	66.0	70.7	73.7	80.8	99.8	100.0
工事 内容	測量設計	用地買収 家屋補償 測量設計 函渠工	用地買収 改良工 函渠工	用地買収 家屋補償 改良工	用地買収 家屋補償 改良工	家屋補償 改良工 函渠工 舗装工	改良工 舗装工	橋梁工	橋梁工 舗装工	改良工	用地買収 橋梁工	橋梁工 改良工 舗装工	家屋補償

市道植木橋木角線道路整備事業の進捗の見込み

●事業進捗の見込み

令和5年度末で80.8%の進捗を見込んでいる。

来年度は、植木橋の残り半分の工事に着手する予定。

●他事業との関連

本事業東側区間である都市計画道路の未整備区間についても現在整備中で、令和8年度完了見込であるため事業を継続し、早期完成を目指す。

市道植木橋木角線道路整備事業のコスト縮減

●建設発生土残土の有効利用

他の公共工事より発生した建設残土の受入れを行い、新規土の購入を削減しており、資源の有効活用を図っている。

また、本事業で発生する田んぼの表土については、ほ場整備事業で有効利用していただいている。

市道植木橋木角線道路整備事業のコスト縮減

●仮設材の購入による再利用

本事業の橋梁工において一次施工、二次施工と2回使用する仮設材の一部をリースではなく、購入することにより仮設費の縮減を図っている。

また、他事業の工事でも使用する予定。